

刈払機の刈刃が地面に当たりキックバックが発生。弾かれた刈刃により左足甲付近に切創を負った

災害概要

- ▶原因：キックバック 刈払機 ▶発生月：7月 ▶FW研修：3年目
▶年齢：20歳 ▶受傷部位：左足甲外側 ▶傷病名：切創 ▶作業内容：下刈り

発生状況

傾斜20度程度。スギ植林地。刈払機にて下刈り作業。

刈払機の刈刃が地面に当たりキックバックが発生。弾かれた刈刃により左足甲付近に切創を負った。

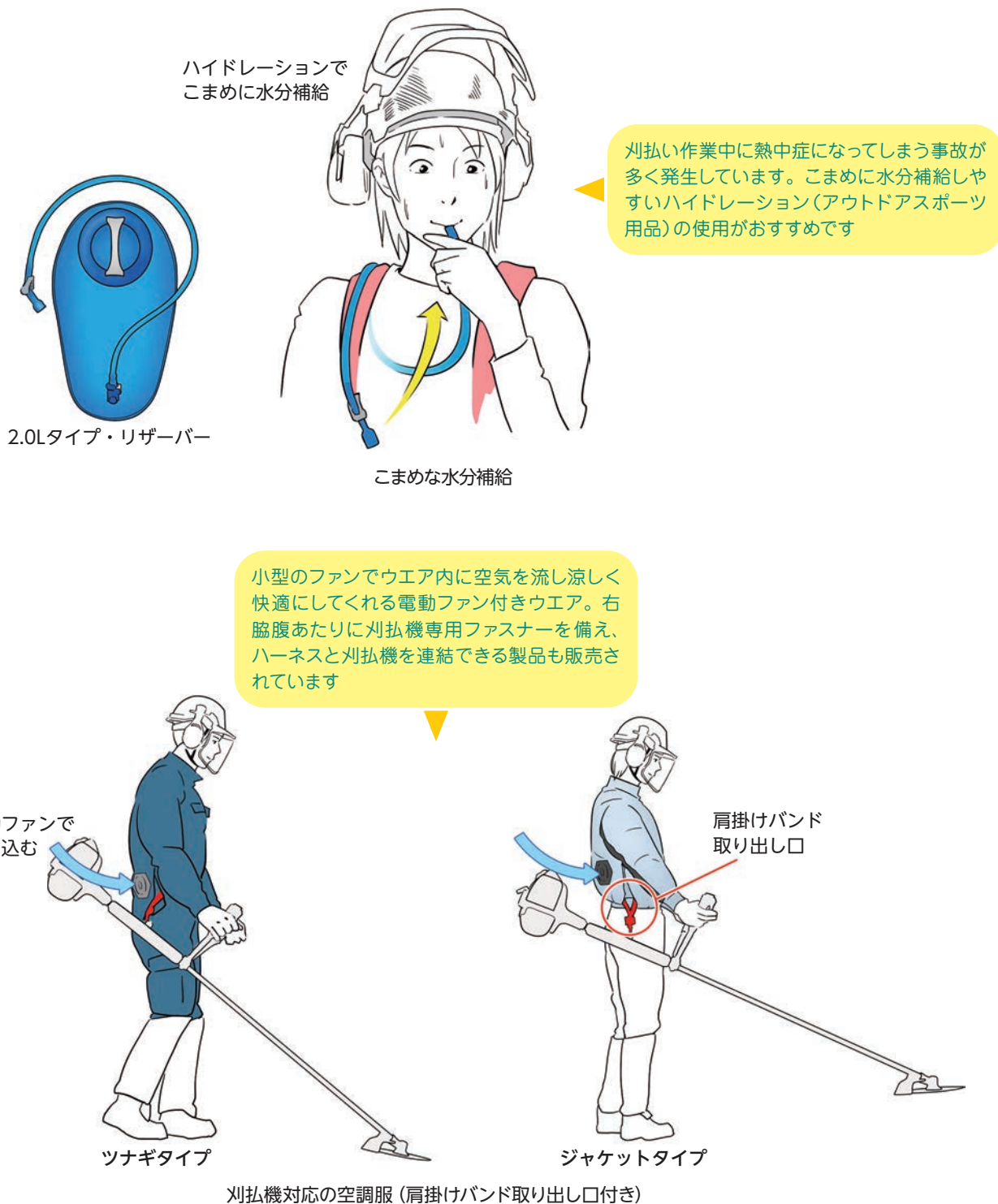


原因

地面に触れたことによるキックバック。

再発防止対策

- キックバックの発生する仕組みの理解。
- 腰バンド、股バンドの着装。



立木に刈刃が当たりキックバック発生。左足小指に回転したままの刃が接触した

災害概要

- ▶原因：キックバック 刈払機 ▶発生月：1月 ▶FW研修：2年目
▶年齢：21歳 ▶受傷部位：左足小指 ▶傷病名：切創 ▶作業内容：除伐（刈払機）

発生状況

緩傾斜地。スギ植林地。刈払機にて除伐作業。

刈払機の刈刃が立木に当たりキックバックが発生。立木脇の枯死木に当たった後、研修生の左足小指に回転したままの刃が接触した。



原因

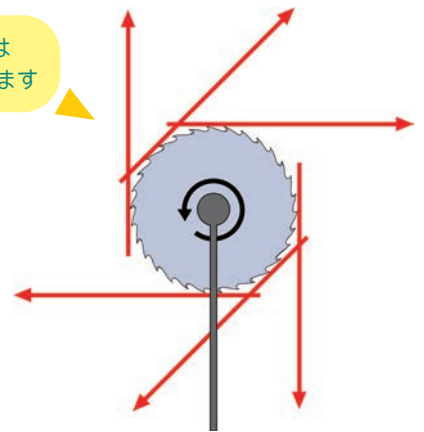
立木に触れたことによるキックバック。

再発防止対策

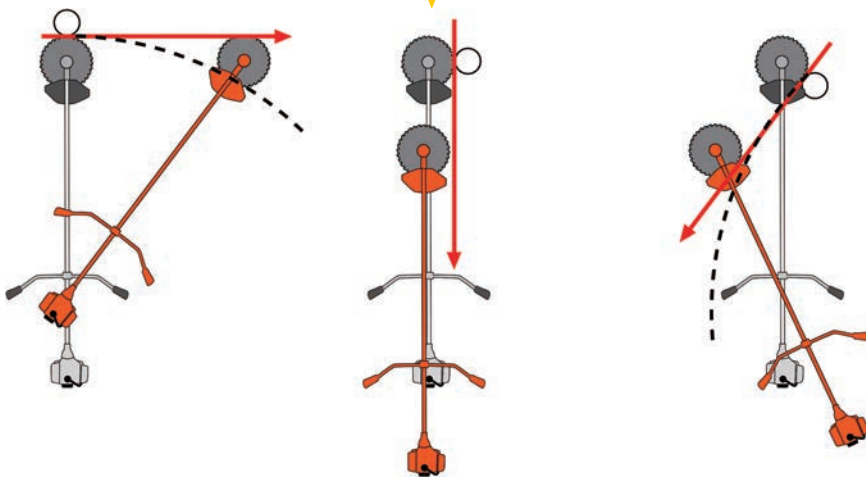
- 自分の足に刈払機の刃を近づけ過ぎない。
- 奥行のない場所は、一步後ろに下がり距離を確保する。
- 腰バンド、股バンドの着装。

図「刈刃でキックバックの起こる方向」に関連して、それぞれの場面で機械にかかる力と動きについて考えてみましょう（参考：石垣正喜「刈払機の安全作業ガイドー基本と実践」全国林業改良普及協会）

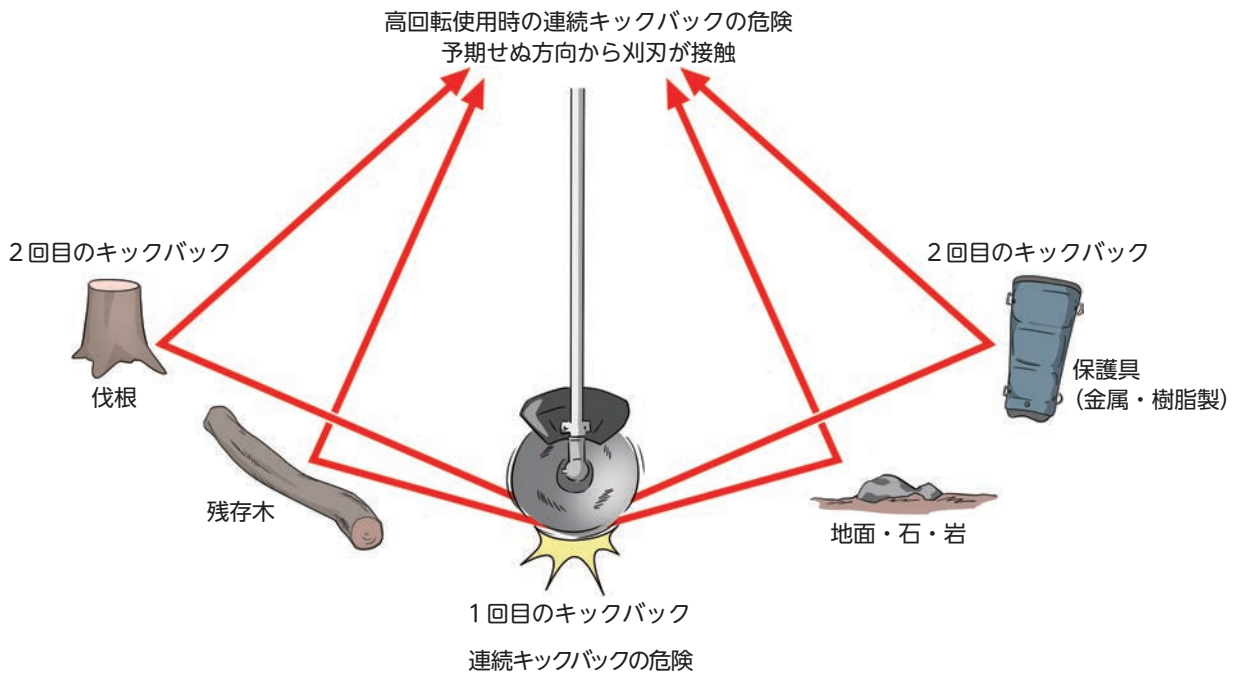
キックバックは全周で起こります



刈刃でキックバックの起こる方向



機械にかかる力と動き



腰バンドを外して刈ったところ、 切り株に刃が当たりキックバック が発生し左足小指に切創を負った

災害概要

- ▶原因：キックバック 刈払機 ▶発生月：5月 ▶FW研修：1年目
- ▶年齢：20歳 ▶受傷部位：左足小指 ▶傷病名：切創 ▶作業内容：下刈り

発生状況

緩傾斜。スギ植林地において下刈り作業中。

刈払機で手前を刈払おうとして腰バンドを外して刈ったところ、切り株に刃が当たり軽いキックバックが発生。左足小指付近に刃が接触し、切創を負った。



原因

伐根に当たりキックバックが発生、腰バンドを一時的に外す。

再発防止対策

- 腰バンドの着装による作業の徹底。Uハンドルの導入。

肩掛式刈払機（Uハンドル）の操作では、体を左斜めの状態（右足が前、左足が後）、中心軸になる右腰骨が前へ出るような姿勢となります。足運びは、左足を右足のすぐ後方が、ほぼ真横まで引きつけた後、右足を次に引きつけるような動きになります。こうした点から、Uハンドルは左足が前へ出やすいツェグリップのものより、足を切りにくく安全であるといえるでしょう（参考：石垣正喜「刈払機の安全作業ガイドー基本と実践」全国林業改良普及協会）



刈払い作業の正しい操作フォーム

広葉樹の伐根に刈払機の刃先が接触しキックバックし、左ふくらはぎを切創

災害概要

- ▶原因：キックバック 刈払機 ▶発生月：9月 ▶FW研修：1年目
- ▶年齢：38歳 ▶受傷部位：左足ふくらはぎ ▶傷病名：切創
- ▶作業内容：下刈り

発生状況

傾斜30度。スギ造林地で刈払機による下刈り作業。

同僚7人と斜面を刈り進んでいたところ広葉樹の伐根に刃先が接触しキックバックし、左ふくらはぎに切創を負った。



原因

切り株に触れたことによるキックバック。

再発防止対策

- 雑草等に隠れた伐根に注意。
- 腰バンド、股バンドが装着できる刈払機の使用。

